

付録

石山寺蔵『跋陀三蔵安心法』の翻刻と対校

凡例

一、本資料は、滋賀県大津市大本山石山寺所蔵の稀覯書、『跋陀三蔵安心法』を底本として上段に翻刻し、それぞれ異本と対校して、その異同を下段に注記したものである。

二、『跋陀三蔵安心法』の内容は、写本の調査により、「跋陀三蔵安心法」と「誌公和尚十四科頌」という二つの部分よりなる。

三、底本と対校本の所在、及び注記に用いた略号は次の通りである。

〔底本〕

〔跋陀三蔵安心法〕（石山寺校倉聖教・第二十九函三三三号）……………〔底〕

〔対校本〕

〔菩提心義要文〕引用箇所（『統天台宗全書』密教②）……………〔菩〕

〔景德伝灯録〕所収本（『大正蔵』51）……………〔景〕

〔宗門聯灯会要〕所収本（『統蔵』2B-9）……………〔宗〕

『禪門諸祖師偈頌』所収本（早稲田大学所蔵五山版）……………
Ⓜ

四、右の対校本中、Ⓜは「跋陀三藏安心法」部分、ⓂⓂⓂⓂⓂは「誌公和尚十四科頌」部分の対校のみに用いた。

五、底本の翻刻に際しては、原文に忠実なることを原則としたが、その本文内容に基づいて適宜に分節を施し、全文に句読点に付した。

六、虫損・破損等のため、底本で判読不能の部分は□で、文字は明確ではないものの、判読可能な場合は[文]字で示した。

七、本文の使用文字は、原則として俗字を正字に統一したので、他本と対校においては、左記の如き異体字や俗字などの同異については指摘することを省略した。

例えば、佛 || 仏 座 || 坐 爾 || 尔 無 || 无 惡 || 恶 著 || 着

一、「跋陀三藏安心法」

(表題)

跋□□國安心法

(内題)

跋陀三藏安心法

(一)

問、此國居東邊、修道無法。以無法故、國墮二乘、或墮外道、久受生死、不得解脫。國天有法、先學安心。心未安之時、善苟不應作、何況其惡。心得安靜之時、惡心尚不應作、況復其善。若爾修道、云何六波羅密、講經座禪、精進造行、只名善業、不名修道。或在名聞、或爲利養、人我心行、嫉妬心造。若修道者、不見此行、若晝若夜、勤修佛行、不得安靜、不名安心。

(二)

今言安心者、爲四種。一者背理心、二者向理心、三者入國心、四者理心。言背理心者、一向凡夫。向理心者、厭惡生死、以求涅槃、

1 跋陀三藏安心法ニナシ

1 問ニ跋陀三藏云 2 此ニ問 3 天ニ國

4 心未安之時ニ若爾修道云何ニナシ

5 只ニ但 6 在ニ爲 7 若修道者ニ不名

安心ニナシ

1 今ニナシ 2 種ニナシ 3 一者背理心

4 四者理心ニナシ 4 言ニ一 5 者ニナ

(3)

趣向寂靜、名聲聞人也。⁸ 入理者、⁹ 雖復斷障顯理、能所未亡。¹¹ 理心者、¹² 非理外理、非心外心、心即是理、理即圓心、心理平等、名之爲理。¹⁴ 理照明、名之爲心。心理平等、名之爲佛。心會實相¹⁵性者、不見生死涅槃有別、凡聖無異、境智無二、理智俱融、真俗齊觀、染淨一如、¹⁸緣起大用、圓通無碍、名大修道。自他無二、一切行名爲大乘。

(三)

內外無著、大捨畢竟、¹爲檀波羅密。善惡平等、俱不可得、即是尸羅波羅密。² 心行無違、怨害永盡、即是忍辱波羅密。大寂不動、萬行自圓、即是精進波羅密。³ 圓興妙寂、即是禪波羅密。妙寂圓明、即是般若波羅密。⁴ 如是勝上廣大、圓滿無碍、得用繁興、是爲大乘。有求大乘者、不先學安心、⁷因知大誤矣。⁸

シ[⊕] 6 夫 + 二[⊕] 7 者厭惡生死、趣向寂靜
 名[⊕] 8 也 + 三[⊕] 9 者[⊕] 心是菩薩心
 ⊕ 10 復[⊕] ナシ[⊕] 11 亡 + 四[⊕] 12 者非理
 理、非心外心[⊕] ナシ[⊕] 13 理 + 能[⊕] 14 照 +
 能[⊕] 15 相[⊕] ナシ[⊕] 16 智[⊕] 事[⊕] 17 淨[⊕] 清
 ⊕ 18 如 + 而此必不證則無、證則有照[⊕] 19
 行 + 一時行[⊕]

1 竟 + 名[⊕] 2 羅[⊕] ナシ[⊕] 3 行[⊕] 境[⊕] 4
 動 + 而[⊕] 5 是[⊕] 此之[⊕] 6 得[⊕] 德[⊕] 7 學
 覺[⊕] 8 大[⊕] ナシ[⊕]

二、「志公和尚十四科頌」

志公和尚十四科¹_(內題)

四翻²

(一) 菩提煩惱不二

衆生不解求道²、更欲斷煩惱³。不知煩惱本空⁴、將道更欲覓道⁵。一念之心即⁶、何須別處求討⁷。大道皎在目前⁸、迷倒愚人不曉⁹。佛性天真自然¹⁰、亦無因緣圖造¹¹。不識三毒虛假、妄執浮沉生死¹²。昔日迷時謂晚¹³、今日始覺非早。

(二) 持犯不二

因夫運用圖碍¹、不爲戒律所制²。圖犯本自無主³、愚人被他禁繫⁴。智者圖作皆空⁵、聲聞觸途爲滯⁶。大士肉眼圓通⁷、二乘天眼有翳⁸。空中妄執有無⁹、不達色空無碍¹⁰。菩薩與囿同居¹¹、清淨曾無染穢¹²。愚人貪著涅槃¹³、智者生死實際¹⁴。法性本無言說¹⁵、緣起略陳茲偈¹⁶。百歲無智小兒¹⁷、有智小兒百歲。

1 志 || 誌^宗禪 2 科 + 頌^宗禪

1 菩提煩惱不二 || ナシ^底 2 求 || 修^宗禪

3 更 || 便^宗禪 4 斷 + 除^宗禪 5 不知 ||

ナシ^宗禪 6 本空 || 本來空寂^宗禪 7 求

|| 尋^宗禪 8 皎 || 曉^宗禪 9 曉 || 了^宗禪

10 死 || 老^宗禪 11 日 || 時^宗禪 12 時

|| 日^宗禪 13 謂 || 爲^宗禪

1 主 || 生^宗禪 2 爲 || 成^宗禪 3 空 || 心^宗禪

4 穢 || 世^宗禪 5 本 || 空^宗禪 6 陳 ||

爲^宗禪 7 有智小兒 || 小兒有智^宗禪

(三) 理本不二

衆生與佛不²困、大智不異於愚。何³□外求珠寶、身內自有明珠。正道邪道不二、了知凡聖同途。迷悟本無差別、涅槃生死一如。究竟攀緣空寂、推求憶想清虛。無有一法可得、愴然直入無餘。

(四) 事理不二

心¹□¹在愴然、法性本離十纏²。一切無非佛事、何須攝念坐禪。妄想本來空寂、不用除斷攀緣。大⁴圈無心可得、自然無靜無喧。不識無爲大道、何時得³箇幽玄。佛與衆生一種、衆生即是世尊。凡夫妄生分別、無中執有迷奔。了達貪嗔空寂、何處不是真門。

(五) 靜亂不二

聲聞厭喧求靜、猶如棄麵求餅。餅即從來是麵、造作隨人百變。煩惱即是菩提、無心即是無境。困⁴死不異涅槃、貪嗔如焰如影。智者無心是佛、愚人向外馳聘。徒勞³一⁴困空過、不見如來妙頂。□⁴達⁴空、鏝湯銅柱自冷。

1 理本 || 佛與衆生 (景宗禪) 2 不 || 無 (景宗禪)

3 □ || 須向 (景宗禪) 4 珠 || ナシ (景宗禪) 5 內

|| 田 (景宗禪) 6 攀 || 諸 (景宗禪) 7 推 || 惟 (景宗禪)

8 憶 || 意 (景宗禪) 9 直 || 自 (景宗禪)

1 □ || 王 (景宗禪) 2 離 || 無 (景宗禪) 3 除斷 ||

斷除 (景宗禪) 4 大智 || 智者 (景宗禪) 5 靜 || 爭

(景宗禪)

1 是 || 求 (景宗禪) 2 向外馳聘 || 執邪執正 (景宗禪)

3 一生空過 || 空過一生 (景宗禪) 4 □ || 了

(景宗禪) 5 銅柱 || 鏝炭 (景宗禪)

(六) 圍惡不二

我今¹身心快樂、¹ 儻然無善無惡。法身自在無方、² 觸目無非自覺。六塵困來空寂、凡夫妄生執著。涅槃³死平等、四海⁴誰爲厚薄。無爲大道自然、不用將心畫度。菩薩散圍靈通、所作常含妙覺。聲聞沉浸坐禪、如蠶吐絲自縛。法性本來圓滿、病癒何須執藥。了知諸法平等、⁵ 儻然清虛快樂。

(七) 色空不二

法性本無青黃、衆生謾作文章。迷²我說他正觀、自心擾擾顛狂。不識圓通妙理、何時得會真常。自病不能治療、即教他人藥方。外看將⁷因爲善、心內猶如豺狼。愚⁹囚厭其地獄、智者不樂天堂。對境心常不起、舉足皆是道場。佛與衆生不二、衆生自作分張。若⁸除却三毒、迢迢不離災殃。圍者知心是佛、愚人樂往西方。

(八) 生死不二

世間諸法如幻、生死猶如掣電。法身自在圓通、出入江河無間。顛倒妄想本空、⁴ 般若無迷無亂。三毒本自解脫、何須攝念禪觀。只爲愚人不了、被他戒律決斷。不識寂滅真如、何時得到彼岸。智者無

- 1 今 || 自^宗禪
- 2 自 || 正^宗禪
- 3 平等 || 空平^宗禪
- 4 海 + 阿^宗禪
- 5 爲 || ナシ^宗禪
- 6 靈 || 虛^禪
- 7 沉浸 || 執法^宗禪
- 8 滿 || 明^宗禪

- 1 作 || 造^宗禪
- 2 迷 || 吾^宗禪
- 3 正 || 止^宗禪
- 4 心 || 意^宗禪
- 5 病 || 疾^宗禪
- 6 即 || 却^宗禪
- 7 是爲 || 爲是^禪・謂是^宗
- 8 如 || 若^宗禪
- 9 厭 || 畏^宗禪
- 10 樂 || 異^宗禪

- 1 如 || 若^禪
- 2 掣 || 雷^宗禪
- 3 江 || 山^禪
- 4 被 || 從^宗禪
- 5 到 || 登^宗禪
- 6 死 + 所^宗禪

惡可斷、運用隨心合散。法性本來空寂、不爲生死⁶絆。若欲斷除煩惱、此是無明癡漢。煩惱即是醫提、何用別求禪觀。實際無佛無魔、心體無形無段。

(九) 斷常不二

丈夫運用²□□、逍遙自在無方。一切不能醫害堅固猶若金剛。不著⁵二□⁵中道、斷然非斷非常。五欲貪嗔是佛、不異地獄天堂。愚人妄生分別、流浪生死被傷。智者達色無礙、聲聞不了迴惶。法性本無瑕翳、衆匪妄執青黃。如來引¹⁰迷倒¹¹、或說地獄西方。彌勒身中自有、何用別處思量。棄却真佛造像、此人即是顛狂。聲聞心中不了、唯知趁¹⁵遂¹⁶言章。言本非真道、轉加鬪諍剛強。心如²⁰蚯蚓²¹觸著便即遭傷。不解文中取義、何時得會真常。死入無明地獄、精神²³枉受災殃。

(十) 眞俗不二

法師說法極好、心中不離煩惱。口談文字佗他、轉更憎¹他生死²。妄想³本⁴□不二、凡夫棄妄覓道。四衆雲圍聽講、高座論議浩浩。南座北座相圍、四衆謂言爲好。雖然口誣甘露、心裏尋常枯燥。自己⁸

- 1 常 || 除^宗 2 □□ || 堂堂^宗 3 方
|| 妨^宗 4 若 || 如^宗 5 □□ || 邊^宗
6 不異地獄 || 地獄不異^宗 7 被傷 || 猖狂^宗
8 不了 || 無不^宗 9 迴 || 恻^宗
10 □□ || 接^宗 11 倒 || 愚^宗 12 西方 || 天堂^宗 13 用 || 須^宗 14 佛造 || 如佛^宗
15 知趁 || 只趁^宗 16 遂 || 逐^宗 17 言 + 章^宗 18 諍 || 爭^宗
19 強 || 彊^宗 20 如 || 裏^宗 21 觸 || 整^宗 · 整^宗 22 明 || 問^宗 23 精神 || 神識^宗
1 憎 || 增^宗 2 死 || 老^宗 3 妄想 || 眞妄^宗 4 □□ || 來^宗 5 論 || 談^宗
6 議 || 義^宗 7 謂 || 爲^宗 8 己 || 已^宗

〔元無〕一錢、日夜數他珍寶。恰似無智愚人、棄却眞金擔草。三毒□
□不除、未審何時得道。

(十一) 解縛不二

律圍持律固縛、亦能縛他。外圍威儀恬靜、心亂恰似波濤。不駕無
生飢餓、若爲得度愛河。不解眞宗正理、邪見言辭繁多。有二比丘犯律、
便即往問優波。優波依圍詳說、重增比丘網羅。方丈室中居士、即
便來訶優波。優波默然無對、淨名□□無過。而彼戒性如空、不圍
□外婆婆。當直除滅不肯、忽悟□同釋迦。

(十二) 天堂地獄不二

禪圍體離圍明、煩惱從何處圍。天堂地獄一相、涅槃生死空名。亦
無貪瞋可斷、亦無佛道可成。衆生與□平等、寂然聖智惺惺。不爲
六塵所染、句句獨契無生。正覺一念玄解、三世坦圍皆平。非法非
律□圍、條然直入玄城。絕此四句百非、□空無作無行。

(十三) 運用不二

我因滔滔自在、不羨公王卿宰。四時由若金剛、苦樂心常不改。法

禪 9 三毒□□ 心中三毒 10 除 捨
景 禪

1 縛 + 自縛 2 亂 3 波濤
4 無生 5 若爲
6 得度 7 渡得
8 詳說 9 重
10 士 + 維摩
11 即便 便
12 優波 13 說
14 空 15 內
16 當直除 17 還
1 天堂地獄 2 天堂地獄 地獄
3 佛 4 寂 自
5 聖智 6 染 7 自
8 直 9 玄城 圓成
10 如 11 依
1 不二 2 公王 3 由

寶喻若須彌、智惠廣如江海。不爲八風□牽、亦無精進懈怠。任性
 □沉□顛倒、縱橫散誕自在。□莫刀臨頭上、我自安然不採。

(十四) 迷悟不二

迷時以空爲色、悟時以色爲空。迷罔本無差別、色空究竟還同。
 愚人喚南作北、智者達無東西。罔覺真如妙理、當在一念之中。陽
 罔本來非水、渴鹿狂走忘忘。自身虛假不實、將空更欲覺空。爲此
 迷倒至甚、如犬吠雷。

1 不知□書□誤 一校了

猶宗禪 4 苦 昔宗 5 若 於宗禪
 6 如 於宗禪 7 所宗禪 8 浮
 宗禪 9 顛倒 若宗禪 10 縱橫散誕
 散誕縱橫宗禪 11 遮宗禪 12 刀 +
 劍宗禪 13 上 ナシ宗禪 14 採 采宗禪
 禪
 1 時 即宗禪 2 東西 西東宗禪 3 眞
 如 如來宗禪 4 當 常宗禪 5 來非 非
 其宗禪 6 走忘忘 趁忽忽宗禪 7 爲
 此 世人宗禪 8 豈豈 豈宗禪
 1 不知□書□誤 一校了 2 ナシ宗禪